



2025年6月20日

各 位

会社名 株式会社マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証プライム)
問合せ先 管理本部長 下舞 毅
(TEL. 0996-68-1140)

個別業績予想の修正及び連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表、
配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年10月11日に公表いたしました2025年8月期の個別業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

また、2025年8月期第3四半期より連結決算へ移行することに伴い、連結業績予想を公表いたします。

記

1. 個別業績予想の修正について

(1) 2025年8月期通期個別業績予想の修正 (2024年9月1日～2025年8月31日)

(単位: 百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	7,600	1,600	1,500	1,065	84.16
今回修正予想(B)	7,632	1,723	1,674	1,264	99.85
増減額(B-A)	32	123	174	199	
増減率(%)	0.4	7.7	11.6	18.7	
(ご参考)前期実績 (2024年8月期)	4,749	156	42	19	1.55

(2) 修正の理由

2025年8月期につきまして、売上高は概ね予想通りとなる見通しですが、従来見通しに比べ、生産性の改善等により営業利益は1,723百万円、経常利益は1,674百万円、当期純利益は1,264百万円と前回発表予想に比べ増加する見通しとなりました。

2. 連結決算への移行について

当社は、2025年3月4日付「KMアルミニウム株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、2025年4月8日付で、KMアルミニウム株式会社の株式を取得（子会社化）いたしました。これに伴い、2025年8月期第3四半期より連結決算に移行いたします。

(1) 2025年8月期通期連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
通 期	11,254	1,900	1,714	1,265	99.93

(2) 連結業績予想の概要

当社は、2025年4月8日に株式を取得して子会社化したKMアルミニウム株式会社（以下、「KMAC」）を2025年4月より連結することに伴う業績への影響を算出いたしましたのでお知らせいたします。

売上高につきましては、主にKMACの5か月分の売上高36.2億円が加わることによって、112.5億円となる見通しです。損益につきましては、のれん等の発生に伴う償却費が128百万円、株式取得関連費用のうち販管費として一時的な費用が約1億円、また、借入金の増加による金利負担が約77百万円追加発生する見込みとなりました。それらの費用増加に対し、営業損益段階では、マルマエ事業が1.2億円の利益上振れ、KMACの事業連結によって約4億円の増加が見込まれることから、営業利益は1,900百万円、経常利益は1,714百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,265百万円の見込となりました。なお、当期は連結に伴う影響が5か月分にとどまりますが、来期以降の通期見通しに、新たに連結後の新中期事業計画を加え、第3四半期決算の発表までに作成し公表する予定です。

3. 配当予想の修正（増配）について

(1) 2025年8月期配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想		15円 00 銭	30円 00 銭
今 回 修 正 予 想		25円 00 銭	40円 00 銭
当 期 実 績	15円 00 銭		
前 期 実 績 (2024年8月期)	10円 00 銭	20円 00 銭	30円 00 銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、配当を中心とする方針をとっており、現中期事業計画の期間中において配当性向の目標を35%以上としております。

足元で半導体製造用の消耗品需要が堅調に推移していることに加え、KMACの連結化によって業績見通しが上振れたことに伴って当期の期末配当予想を1株当たり15円から25円へ増額修正することといたしました。これにより、中間配当金を含めた当期の年間配当金は1株当たり40円（うち中間配当金実績15円）となります。

なお、期末配当につきましては、2025年11月下旬に開催予定の第38期定時株主総会に付議する予定であります。

以 上

(注)本資料に記載されている業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。